

令和元年度 市政アンケート調査 集計結果活用状況

(令和2年3月末時点)

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第1回	「環境保全の意識」について (環境局 環境政策課)	「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として活用した。	「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として調査結果を活用するとともに、調査結果を基に環境保全に関する広報・啓発を行う。
	「住宅でできる断熱改修」について (環境局 環境・エネルギー対策課)	暮らし安心・適応リノベーション促進事業(住宅窓の断熱改修促進を図る事業)の施策検討に活用した。	左記の「暮らし安心・適応リノベーション促進事業」により得られるデータなどと合わせて、住宅窓の断熱改修促進に向けて、効果的な施策展開を検討するための基礎資料として活用していく予定である。
	「舞鶴公園・大濠公園の利用の仕方」について (住宅都市局 みどり政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「セントラルパーク基本計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用してきた。 ・「セントラルパーク構想」は、県をはじめ、市の公園、文化財、観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は、関係部署と共有し、各部署における事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては、現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ、福岡城さくらまつりや福岡城梅まつりなど、既存イベントの内容を充実させるとともに、多様な民間イベントの受け入れ、季節を通じた賑わい創出に取り組んでいる。また、春、夏、秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど、情報発信についても強化している。 	「セントラルパーク基本計画」の成果の進捗管理や各種事業を検討する際の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 2 回	「情報通信の利用状況」について (総務企画局 ICT戦略課)	問2で尋ねた「インターネットでできる福岡市の手続き」の認知度向上のため、メールマガジンで定期的に情報発信を行った。	行政手続きのオンライン化をはじめとする情報化の取り組みを拡充するための基礎資料とし、市民の利便性向上を図っていく予定である。
	「選挙」について (選挙管理委員会事務局 選挙課)	投票しなかった理由として「仕事やレジャーなどで時間がないから」と回答した人が多かったことも踏まえ、令和元年12月発行の「せんきよかわら版No.42」に「投票日に投票所へ行けない場合の投票方法」についての記事を掲載した。	次期衆議院議員総選挙において、啓発事業の内容を検討するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。
	「消費者教育」について (市民局 消費生活センター)	「福岡市消費者教育推進計画」に基づく施策の推進のための基礎資料として、調査結果を活用した。	・啓発資料のデータとして活用するほか、消費者トラブル被害防止の啓発の取り組みを拡充するための基礎資料とし、市民意識の向上を図っていく予定である。 ・「消費生活センターの認知度」を「第2次福岡市消費者教育推進計画」の成果指標とし、計画の進捗状況の把握や効果的な事業実施に活用する予定である。
	「救急車の利用」について (消防局 救急課)	「救急車の利用」について、アンケート調査結果を基に次年度の広報計画及び広報対象の設定に活用した。	救急車の適正利用の促進、民間救急や救急相談ダイヤル（#7119）の認知度向上のため、アンケート調査結果を基に広報対象を絞り、より効果的な広報の方法について検討を行う。

テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
	これまでの活用状況	今後の活用予定
「モラル・マナー」について (市民局 生活安全課)	「福岡市モラル・マナー向上推進本部」において、モラル・マナーの現状をより詳細に把握し、効果的な施策を検討するための基礎資料として調査結果を活用した。	モラル・マナー向上の取り組みを全庁横断的に推進していくための基礎資料として活用する予定である。
「受動喫煙」について (保健福祉局 健康増進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・問9で尋ねた、改正健康増進法による受動喫煙対策の強化についての認知度向上のため、専用WEBサイトのリニューアルを行った。また、チラシをリニューアルし、市内公共施設などで配布を行った。 ・問11で尋ねた、喫煙可能である場所を示す標識を参考にするかの結果を基に、標識の重要性について、受動喫煙対策説明会、個別訪問などにおいて事業者への周知・啓発を行った。 	受動喫煙防止の啓発の取り組みを推進するための基礎資料とし、市民の意識の向上を図っていく予定である。
「博多港の海底ごみ」について (農林水産局 水産振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・博多湾の海底ごみ削減に向けた市民啓発事業「FUKUOKA おさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ！～」は、海底ごみ・リデュースについての市民意識の向上を成果指標としており、調査結果を基礎資料として活用している。 ・広報物の制作やイベントでの呼びかけなど、啓発を効果的に行うための参考資料として活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して調査を実施し、事業成果を図るために活用していく予定である。 ・引き続き、イベントでの呼びかけなど、啓発を効果的に行うための参考資料として活用していく予定である。
「福岡市の国際化」について (総務企画局 国際交流課, アジア連携課, 国際政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 【福岡市の国際交流と姉妹都市交流について】 国際交流事業・姉妹都市交流事業を企画する際の基礎資料として活用している。 【福岡アジア文化賞について】 「福岡アジア文化賞」の事業を企画する際の基礎資料として活用している。 【日本人と外国人の共生について】 外国人住民との共生を進めるための基礎資料として、調査結果を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【福岡市の国際交流と姉妹都市交流について】 姉妹都市に対する認知度が、都市によって大きく違うことから、引き続き、認知度向上を図るため、姉妹都市のPRを広く実施していく予定である。 【福岡アジア文化賞について】 「福岡アジア文化賞」に対する認知度が世代によって大きく異なることから、特に認知度の低い世代に向けた企画や広報などを検討していく予定である。 【日本人と外国人の共生について】 外国人住民との交流支援に調査結果を活用する。調査結果を踏まえ、令和2年度より、外国人に対して、文化や習慣、生活ルール・マナーを周知するため、転入手続き時における生活ガイダンスを開始する予定である。

テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
	これまでの活用状況	今後の活用予定
「福岡市の広報活動」について (市長室 広報課)	市政だよりの特集テーマの選定や、ホームページの運用などにおいて参考とした。	今後の市政だよりの発行やホームページの運用において、調査結果を活用する予定である。
第4回 「家庭ごみ」について (環境局 計画課, 家庭ごみ減量推進課, 事業系ごみ減量推進課, 収集管理課)	<p>【ごみ減量・リサイクルについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理基本計画の進行管理の指標の一つとして、調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策の基礎資料として活用した。 ・古紙の出し方調査について、資源物回収の施策の検討に活用し、リサイクルへの取り組みが少ない雑がみについて、雑がみ回収促進袋を作成し、イベントなどで配布を行った。 <p>【食品ロスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭からの食品ロス削減に関する施策の成果指標(KPI)として活用した。 ・「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度について、同運動の成果指標として活用した。 <p>【ごみの収集・有料指定袋について】</p> <p>家庭ごみ収集の基礎資料及びごみ袋のあり方の検討資料として、調査結果を活用した。</p>	<p>【ごみ減量・リサイクルについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の3Rの実践度などは、ごみ減量施策の進行管理を行ううえで重要な指標であり、今後も経年変化を把握するとともに、新規施策の検討にも活用していく。 ・古紙のリサイクルを推進するための基礎資料とし、市民の意識の向上を図っていく。 <p>【食品ロスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭からの食品ロス削減を目的とする「Fukuokaいーとプロジェクト」の基礎資料とし、今後の取り組みに活用する。 ・「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の市民への浸透具合を計る資料として活用することにより、効果的な啓発手法の導入を検討していく。 <p>【ごみの収集・有料指定袋について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ収集の満足度を調査し、収集体制のあり方を検討することとしている。 ・ごみ袋の極小サイズの追加や1パックの枚数を減らす必要性等を調査し、ごみ袋の仕様の見直しなどを検討していくこととしている。
「地産地消」について (農林水産局 農業振興課)	地産地消推進事業の基礎資料として、調査結果を活用している。	ふくおかさん家のうまかもん認定事業などの地産地消の取り組みをさらに推進していくための基礎資料とし、より効果的な事業内容の検討に活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第5回	「水道水への意識や水道行政に対する満足度」について (水道局 総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・問3で尋ねた「水道水の安全性についての不安な理由」を基に、貯水槽管理に関するニーズの把握を行い、事業の検証及び今後の取り組みに活用した。 ・「安全でおいしい水道水プロジェクト」の基礎資料として、調査結果を活用した。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し、事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用した。 ・節水意識及び水道行政に対する満足度の数値を、福岡市水道長期ビジョン2028の成果指標の数値として活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い節水意識を今後も維持できるよう、広報を行う。 ・貯水槽管理に関するニーズを把握し、事業の検証とニーズに合わせた情報発信を行い、貯水槽利用者へ安全で良質な水道水をお使いいただけるように活用する。 ・「水道水の安全性」など、水道水質に関する意識の変化を経年的に把握し、「安全でおいしいプロジェクト」の取り組み状況の検証などに活用する。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し、事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用する。
	「食育」について (保健福祉局 健康増進課)	「第3次福岡市食育推進計画」の成果指標の数値として活用した。	<ul style="list-style-type: none"> ・「第3次福岡市食育推進計画」の進捗状況の把握・確認のために、調査結果を活用する予定である。 ・食育に関する取り組みの推進や検討のための基礎資料とし、普及・啓発を図っていく予定である。
	「『食』の安全・安心」について (保健福祉局 食品安全推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第9次福岡市基本計画」施策3-7の成果指標として活用している。 ・「福岡市保健福祉総合計画」健康・医療分野基本目標3の成果指標として活用している。 ・「令和2年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料として活用した。 	福岡市食品衛生監視指導計画策定、食の安全安心に係る市民啓発事業のテーマ選定時の基礎資料として活用する予定である。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について (総務企画局 行政マネジメント課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。 ・「市民とのコミュニケーションの推進」、「行政手続きの利便性向上」の満足度については、「行政運営プラン」の取組方針の指標として数値目標を定めている。 	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。

テーマ (担当課)	集計結果活用状況		
	これまでの活用状況	今後の活用予定	
第6回	「住宅用火災警報器」について (消防局 予防課)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年の市内設置状況等調査の基礎資料として活用した。 ・約7割の方が住宅用火災警報器の交換目安時期について「知らなかった」と回答したことから、住宅用火災警報器の維持管理に関する啓発物を作成するとともに、出前講座やマスメディアなどでの広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅用火災警報器」の設置・維持管理に対する市民の意識の傾向を把握するための基礎資料とするとともに、今後の広報の方法を検討し、市民の防火意識の向上に活用する予定である。 ・調査結果を総務省消防庁への報告に反映させる予定である。
	「ユニバーサル都市・福岡」について (総務企画局 企画調整部)	福岡市基本計画において、「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに、取り組みの基礎資料として活用している。	福岡市基本計画において、令和4年度の目標値を「ユニバーサルデザインの概念の理解度」70.0%、「ユニバーサルデザインの取り組みへの評価」65.0%と設定し、事業の進捗管理を行っており、引き続き、調査結果を活用して効果的な事業実施に努めていく。
	「福岡市都市景観賞」について (住宅都市局 都市景観室)	市民の景観意識を高め、質の高い都市景観形成へとつなげていくために、特に啓発を強化すべき年代層の把握や、効果的な広報の手法などにかかる検討資料として活用した。	「福岡市都市景観賞」を中心とした意識高揚事業を効果的に取り組むうえでの企画・広報等の検討資料とし、市民の景観意識の向上を図っていく予定である。
	「博多港の広報」について (港湾空港局 計画課)	博多港についての情報発信の内容や効果的な広報手法を検討する際の参考資料として活用している。	博多港への市民理解の向上を図るため、引き続き、効果的な広報を行うための参考資料として活用していく予定である。
	「福岡市議会の広報活動」について (議会事務局 調査法制課)	前回調査(平成28年度)において、市議会ホームページ及び議会中継(放映)について約1割から2割が「見る時間がない」「インターネットを見る環境(機器)がない」と答えていることや、新たな広報媒体としてスマートフォン対応の要望があわせて約4割あったことなどを踏まえ、市議会ホームページ及び議会中継ページをスマートフォンやタブレット型端末でも閲覧・視聴できるように改善した。	「ふくおか市議会だより」以外の広報活動の認知度が低かったことから、市議会だよりなどを通じ、各広報活動の周知や、広報委員会における広報活動の検討のサポートなど、広報の充実に努める。